**平成24年の熱中症による死亡災害の詳細**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 月 | 業種 | 年代 | 事案の概要 |
| 1 | 7 | 警備業 | ５０歳代 | 被災者は、高速道路舗装補修工事現場において、工事車両入退場誘導等を行っていたところ、１２時頃に倒れたので、病院に搬送され、数時間後に死亡した。 |
| 2 | 7 | 電気通信工事業 | ４０歳代 | 被災者は、マンホール内点検作業において、午前の作業を実施後、１２時頃に車を運転して店に向かったが、脱輪してしまい、このとき同僚が被災者の異変に気付いたため、救急車を呼び病院へ搬送されたが、その数時間後に死亡した。 |
| 3 | 7 | 建築工事業 | １０歳代 | 被災者は、外壁改修工事現場において、解体した足場の枠材を集積場所まで運んでいたところ、現場責任者が１１時頃に被災者がふらついていたのを発見し、すぐに休憩させたが倒れてしまい、救急車を呼び病院に搬送されたが、数日後に死亡した。 |
| 4 | 7 | 金属製品製造業 | ４０歳代 | 被災者は、金属製品の製造工場において、サッシ製造を行っていたが、業務終了後の２１時頃に退社したところ、同僚に会社駐輪場にて倒れているところを発見され、その後病院に搬送されたが数時間後に死亡した（屋内作業）。 |
| 5 | 7 | 警備業 | ６０歳代 | 被災者は、補修工事現場において、交通誘導に従事していて、昼の休憩に入ったが、午後２時頃に仰向けで嘔吐・鼻血を流し意識不明の状態で発見され、その後、救急車で病院に搬送されたが数時間後に死亡した。 |
| 6 | 7 | 土木工事業 | ５０歳代 | 被災者は、法面補強作業において、施工を行っていたが、１６時頃に気分が悪くなったため回復するかと休憩していたが、結局体調が戻らなかったために、病院へ搬送されたが、翌日に死亡した。 |
| 7 | 7 | 建築工事業 | ４０歳代 | 被災者は、塗装改修工事において、外壁洗浄作業を行っていたが、１５時頃にふらついているところを住民に発見され、その後路上に倒れたため、救急車で病院へ搬送されたが翌日死亡した。 |
| 8 | 7 | 飲食店 | ５０歳代 | 被災者は、飲食店にて製麺作業を行っていたところ、１６時頃に大量の汗をかき、しゃがみこんだため休憩させたが、泡を吹いて倒れたため、救急車で病院へ搬送したが、数時間後死亡した（屋内作業）。 |
| 9 | 7 | 建築工事業 | ４０歳代 | 被災者は、工事現場において、土間配筋の結束作業を行っていたところ、１４時頃に体調不良で現場を離れ、その後、意識を失いうつ伏せに倒れているところを発見されたので、病院へ搬送されたが、数日後死亡した。 |
| 10 | 7 | 土木工事業 | ５０歳代 | 被災者は、改修工事でブロック積み作業を行っていたところ、１０時頃に体調不良の兆候がみられ、日陰で休憩していたが、業務終了後の帰路で倒れて意識を失い病院へ搬送されたが、翌日に死亡した。 |
| 11 | 7 | 建築工事業 | ３０歳代 | 被災者は、木造家屋建築工事現場で、基礎型枠材の組立て等の作業を行っていたところ、１８時頃、休憩時間中にふらつきはじめたので、現場内で休ませたが痙攣を始めたので救急車で病院に搬送したが、翌日死亡した。 |
| 12 | 8 | 電気機械器具製造業 | ４０歳代 | 被災者は、テントから工場へ台車を利用し部品を移動する作業を行っていたところ、１３時頃、同僚が屋外でうずくまっているところを発見し、救急車で病院へ搬送されたが、数時間後に死亡した。 |
| 13 | 8 | 建築工事業 | ３０歳代 | 被災者は、一般住宅の設備工事で、足場の組立作業を行っていたところ、１１時頃に言動に異常が生じ、その後意識不明になり、救急車で病院へ搬送されたが、十数日後に死亡した。 |
| 14 | 8 | 自動車製造業 | ５０歳代 | 被災者は、工場で車体製造の業務終了後の清掃中、１６時頃に同僚が倒れているのを発見し、声を掛けたが意識がないので、救急車で病院へ搬送されたが、翌日に死亡した（屋内作業）。 |
| 15 | 8 | ビルメンテナンス業 | ６０歳代 | 被災者は、鉄筋コンクリート造９階建てビル内にて定期清掃作業を行っていたところ、１７時頃、５階男性トイレの清掃作業を行っていた被災者がトイレ内で倒れているところを同僚が発見、救急車で病院へ搬送されたが、その後死亡した（屋内作業）。 |
| 16 | 8 | 土木工事業 | ５０歳代 | 被災者は、法面工事にて、使用した道具の片付けを行っていて、１５時頃に同僚が休憩の呼び掛けをしたところ、被災者がふらついていることに気付き、病院に搬送したが、数日後に死亡した。 |
| 17 | 8 | 建築工事業 | ３０歳代 | 被災者は、施工現場で、設備工事を行っていたところ、１１時頃に隣接した倉庫近くで座り込んでいるところを発見され、病院に搬送したが、数日後に死亡した。 |
| 18 | 8 | 食料品製造業 | ３０歳代 | 被災者は、焼成室内で焼き具合の監視業務についていたが、２１時頃、トンネルオーブン出口付近で倒れているところを発見され、救急車で病院に搬送されたが、翌日に死亡した（屋内作業）。 |
| 19 | 8 | 林業 | ６０歳代 | 被災者は、造林地において、刈払機で低雑木の刈払い作業を行っていて、１０時頃、一斉休憩の後に立ちあがらないところを同僚が発見し、病院に搬送したが十数日後に死亡した。 |
| 20 | 8 | 林業 | ５０歳代 | 被災者は、民有林で刈払機の作業をしていて、１０時頃、刈払機の音がしないことに気が付き、被災者の方を見ると、倒れているところを発見、救急車で搬送したが、数時間後に死亡した。 |
| 21 | 9 | 土木工事業 | ３０歳代 | 被災者は、建設工事で、足場材を運んでいたところ、１１時頃に体調が悪そうだったため、早めの休憩を指示したところ、ふらふらとしていたため救急車で病院に搬送したが、数日後に死亡した。 |

　上記21人の死亡者のうち、

（１）18人については、ＷＢＧＴ値の測定を行っていなかった。

（２）全員が、計画的な熱への順化期間が設定されていなかった。

(３) ８人については、単独作業を実施していた。

（４）18人については、自覚症状の有無にかかわらない定期的な水分・塩分の摂取を行っていなかった。

（５）11人については、健康診断が行われていなかった。

（６）９人については、糖尿病等の熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病を有していた（疾病の

影響の程度は不明）。

（７）２人については、体調不良、食事の未摂取または前日の飲酒があった。